

# 専大スポーツ

No. 290

大会結果、予定は体育会ホームページ(専大ホームページ「スポーツ」からログイン)でご確認ください  
専大スポーツweb (http://sensupo.web.fc2.com/) でも大会結果を配信しています

アーチェリー・関東学生男子リーグ戦

## 初のブロック連覇

### 全日本王座戦へ出場決定



▲ 監督・OBらと喜ぶ男子部員



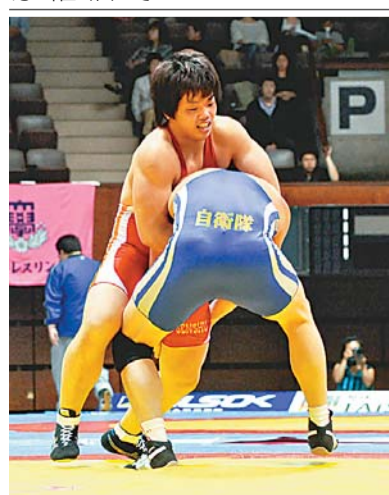
▲ 集中して的を狙うメンバー (最終・東海大戦)

関東学生アーチェリーリーグ戦(男子)が3月28日から4月25日まで、東京農工大ほかで行われた。▲ブロックの専大は5戦全勝で、創部以来初となる2年連続優勝を果たした。この結果、全日本学生男子王座決定戦(6月26、27日・静岡県掛川市)への進出が決定した。

上位6人の合計得点で争われるリーグ戦。成蹊大との初戦は100点以上の大差で勝利した。続く2戦目の東京理科大学戦は、3913点をたたき出し圧勝。3戦目の中大戦、4戦目の明大戦は接戦となったが、着実にリードを重ねて白星を挙げた。最終・東海大戦はなかなか調子が上がらず序盤はリードを許したが、徐々に点数を伸ばし3853-3820と辛うじて逃げ切った。

なほ、5月9日に行われたBブロック優勝校・日体大との関東決勝戦は点差の開きを取り戻せず、3867-3991で敗れた。(土屋 杏有美・文2)

4選手が出場し、F96kg級で馬場貴大がベスト8入りを果たした。また、OBの北村克哉さん(平20商||FEG)、稲葉泰弘さん(平20経営||警視庁)が世界選手権の出場権を手にした。



▲ 積極的に攻める馬場

#### レスリング・JOC杯

## F96kg級を馬場が制覇

全日本ジュニアレスリング選手権(JOCジュニアオリンピック)が4月24、25の両日、横浜文化体育館で行われた。専大からは16選手が出場。昨年までF96kg級で活躍していたレスリング部OBの馬場祐太郎さん(平22経営)の弟で同級に出場した馬場貴大(経営1・島原高)が優勝を果たした。この結果、7月にハンガリーで行われる世界ジュニア選手権の出場権を獲得した。

馬場は「入学後、初めての大会だったので緊張したが、結果を残すことができて良かった。世界で活躍できる選手になれるよう、これからも頑張っていきたい」と話し、更なる飛躍を誓った。

また、F50kg級で竹田展大(経済1・三井高)が、G55kg級で大用真郷(経済3・関宿高)が準優勝、G74kg級で池澤峻介(商1・花咲徳栄高)が3位入賞を果たした。

#### テニス・東京オープン選手権

##### 女子ダブルス

## 重藤・小金井組が連覇



▲ 連覇を果たした重藤(奥)・小金井組

東京オープンテニス選手権が4月19日から25日まで、東京都の有明テニスの森で行われた。女子ダブルスで重藤真知子(文3・筑陽学園高)・小金井理恵(商3・湘南工科大附高)組が優勝し、連覇を達成。専大勢として3年連続の優勝となった。また、同シングルスで小金井がベスト4入りを果たした。

##### 女子シングルス 小金井がベスト4

雨天で試合日程が延び、コンディション調整が難しいなか、ダブルス決勝の相手は早大の大竹・桑田組。試合は6-2、1-6と互いに譲らずタイブレークへ突入するも、10-0でこれを制し、勝利を収めた。小金井は「連覇は意識せず、自分たちの納得いくプレーをしよう」とベアで話していた。シングルス

##### 水泳・日本選手権

## 岩永が400m自由形で6位

日本選手権水泳競技大会が4月13日から18日まで、東京辰巳国際水泳場で行われ、岩永美里(経2・八王子高)が女子400m自由形で6位となった。

4分17秒04の自己ベストでゴールした岩永は「水着を変えたこともあった。日本選手権で初めて決勝の舞台に立ったことについては「2年後の大会を意識した。2年後はオリンピックの選考会も兼ねる大会となるので、この大会を目指して頑張っていきたい」と語った。これから始まるシーズンでも、世界を目指す岩永の泳ぎに注目が集まる。

団体は前回大会で敗れた神戸松蔭学院大に3-0のストレート勝ちを収めるなど、順調に勝ち進んだが、準決勝で中国電力に惜敗。高は「実業団との力の差を感じた。東京選手権も3位だったので今回は優勝したかった。悔しい」と語った。(山口 高弘・商3)

##### 卓球・西日本選手権

## 高が2位

西日本卓球選手権が4月9日から11日まで、山梨県柳井市バタフライアリーナで行われ、女子シングルスで高瑜瑤(商4・秀光中等教育学校)が2位、女子ダブルスで高本(文3・日南)にもっと練習を積みた。

##### 卓球・西日本選手権

## ダブルスは高・天野が3位

西日本卓球選手権が4月9日から11日まで、山梨県柳井市バタフライアリーナで行われ、女子シングルスで高瑜瑤(商4・秀光中等教育学校)が2位、女子ダブルスで高本(文3・日南)にもっと練習を積みた。



▲ シングルス・ダブルスで結果を残した高

団体は前回大会で敗れた神戸松蔭学院大に3-0のストレート勝ちを収めるなど、順調に勝ち進んだが、準決勝で中国電力に惜敗。高は「実業団との力の差を感じた。東京選手権も3位だったので今回は優勝したかった。悔しい」と語った。(山口 高弘・商3)